

第90回都市対抗野球東京都第二代表決定戦に想いを寄せて

2015年 第86回都市対抗野球東京都二次予選が思い浮かんでくる。

下表に第86回東京都二次予選から東京ドームへの道のり。第二代表獲得までには多くのドラマがありました。第一戦のNTT東日本戦は1対1で延長に入り再三のピンチを投手陣が踏ん張り18回裏先頭打者竹内選手が夕焼けに染まるレフトスタンドへサヨナラホームランで2回戦準決勝へコマを進めた。

2回戦準決勝は鷺宮製作所に9回1点先取されるも、9回裏2番(代打宮川選手)からの攻撃でセンターヒット、続く3番荒川選手がライト横に繋ぐヒットで無死3・1塁のチャンスに4番加藤選手がレフトへ同点の儀飛で同点、相手投手の暴投で一塁ランナー2塁に続く5番大野選手がレフト線へリサヨナラタイムリー二塁打でサヨナラ勝ちの奇跡を呼んだ。

第一代表戦決定戦は東京ガスと闘い1回・4回に1点を加え2対0とリードするも7回と9回に得点され同点11回に2ランホームランで欲しくも敗れた。

第二代表決定戦はJR東日本との戦い。林監督はこの日打順組替えが成功し好球必打が実を結び7番大野選手がレフトスタンドへ3ランホームランで初回一挙5点のビックイニング。4回5番野地選手がダメ押しの2ランホームラン試合を有利に進めた。投手陣も先発古田投手が3回2/3イニング2失点、リリーフした重信投手が5回1/3イニングを1失点に抑え最優秀選手・大野選手が優秀選手として表彰された。

本大会では成島監督の継投策が功を制し投手陣の頑張りや打撃陣も数少ないチャンスに好球必打で繋ぎ得点を挙げております。

第二代表決定戦は昨年度推薦出場の NTT 東日本と第一代表の鷺宮製作所の第一代表を賭けた対戦の敗者との戦いになります。

試合は6月4日(火)午後6時より神宮球場で行われます。

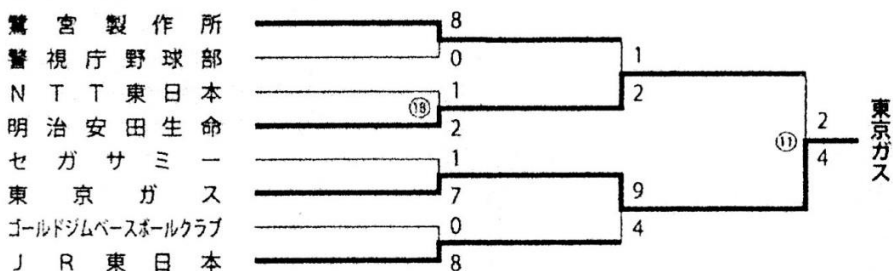
ベンチは一塁側です。皆様の応援をお待ちいたしております。

新年号令和元代表を獲得してください。

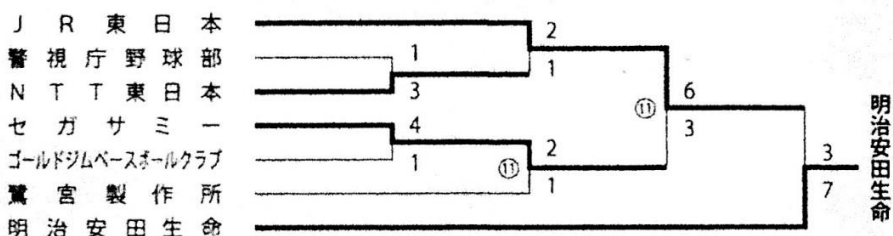
住金鹿島戦でいずれも2桁安打を放った日立製作所が2勝1敗で第2代表の座をつかんだ。

東京第2次予選大会

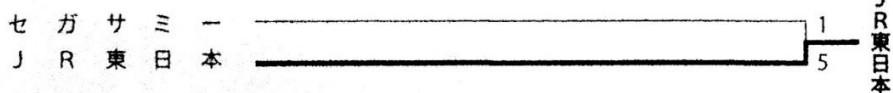
第1代表決定トーナメント／第1代表=東京ガス



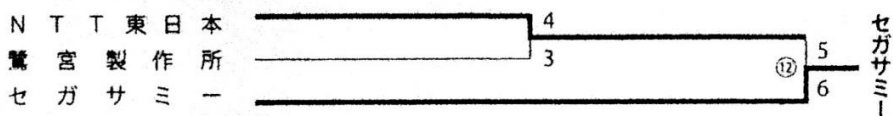
第2代表決定トーナメント／第2代表=明治安田生命



第3代表決定戦／第3代表=JR東日本



第4代表決定トーナメント／第4代表=セガサミー



東京ガスが15年ぶりに第1代表へ。第1代表決定戦は、延長十一回に20歳の中山が決勝の2点本塁打。同級生の19歳、山岡が2失点完投した。明治安田生命は第2代表決定戦で東大卒左腕の重信がロングリリーフに成功。JR東日本は第3代表決定戦で新人・長谷川の2安打3打点の活躍で快勝した。第4代表に昨年の日本選手権準優勝・セガサミーが滑り込んだ。

参考文献
都市対抗
2015
サンデー毎日
臨時増刊
7月25日号
(P45 ページの
出場チーム&
ドームへの道
のり 抜粋)

以上4年前を振り返りながら筆を執りました。